

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ) 次世代米国代表株ファンド（FOFs）（適格機関投資家限定）の受益証券 ロ) マネープールファンド（FOFs）（適格機関投資家限定）の受益証券
運用方法	①主として、次世代米国代表株ファンド（FOFs）（適格機関投資家限定）の受益証券を通じて、米国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。以下同じ。）に投資し、値上がり益の獲得をめざします。 ②次世代米国代表株ファンド（FOFs）（適格機関投資家限定）では、主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると判断した企業の株式に投資を行います。 ③次世代米国代表株ファンド（FOFs）（適格機関投資家限定）では、原則として、為替リスクを回避するための為替ヘッジを行いません。 ④この投資信託は、次世代米国代表株ファンド（FOFs）（適格機関投資家限定）とマネープールファンド（FOFs）（適格機関投資家限定）に投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、次世代米国代表株ファンド（FOFs）（適格機関投資家限定）への投資割合を高位に維持することを基本とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ、およびロ、に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。 イ、 計算期末の前営業日の基準価額（1万口当たり。既払分配金を加算しません。以下同じ。）が10,500円未満の場合、原則として、配当等収益の水準を考慮して決定した額を分配することをめざします。 ロ、 計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に応じ、下記の金額（1万口当たり。）を分配することをめざします。 a.10,500円以上11,000円未満の場合…300円 b.11,000円以上11,500円未満の場合…350円 c.11,500円以上12,000円未満の場合…400円 d.12,000円以上12,500円未満の場合…450円 e.12,500円以上の場合 ………………500円 なお、計算期末の直前から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行なわない場合があります。

YMアセット・ 優良米国株ファンド

運用報告書（全体版）

第33期（決算日 2025年7月22日）
第34期（決算日 2025年10月20日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申しあげます。

さて、「YMアセット・優良米国株ファンド 愛称：トリプル維新（プレミア合衆国）」は、このたび、第34期の決算を行ないました。

ここに、第33期、第34期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

YMfg | ワイエムアセットマネジメント

山口県下関市竹崎町四丁目2番36号

お問い合わせ先 083-223-7124

（営業日の9:00～17:00）

ホームページ <http://www.ymam.co.jp/>

最近10期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額					ダウ・ジョーンズ工業 株価平均(円換算ベース) (参考指標)	投受組 資益入 信託比	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	込 金	期 謄	中 落 率			
第25期末 (2023年7月20日)	円 11,786	円 450	% 14.6	21,840	% 6.6	99.0	百万円 9,014	
第26期末 (2023年10月20日)	11,502	450	1.4	22,676	3.8	99.0	8,934	
第27期末 (2024年1月22日)	12,353	500	11.7	24,954	10.0	99.0	9,805	
第28期末 (2024年4月22日)	12,888	500	8.4	26,273	5.3	99.1	11,222	
第29期末 (2024年7月22日)	13,597	500	9.4	28,782	9.5	99.0	12,731	
第30期末 (2024年10月21日)	12,776	500	△ 2.4	29,174	1.4	99.2	12,233	
第31期末 (2025年1月20日)	13,209	500	7.3	30,109	3.2	99.3	13,031	
第32期末 (2025年4月21日)	10,200	300	△20.5	25,060	△16.8	98.3	10,553	
第33期末 (2025年7月22日)	12,552	500	28.0	29,726	18.6	99.3	13,125	
第34期末 (2025年10月20日)	12,638	500	4.7	31,015	4.3	99.4	13,665	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) ダウ・ジョーンズ工業株価平均(ダウ工業株30種)とは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「NY(ニューヨーク)ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCは、その運用成果および当ファンドの取引に関する一切の責任を負いません。ダウ・ジョーンズ工業株価平均(円換算ベース)は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。

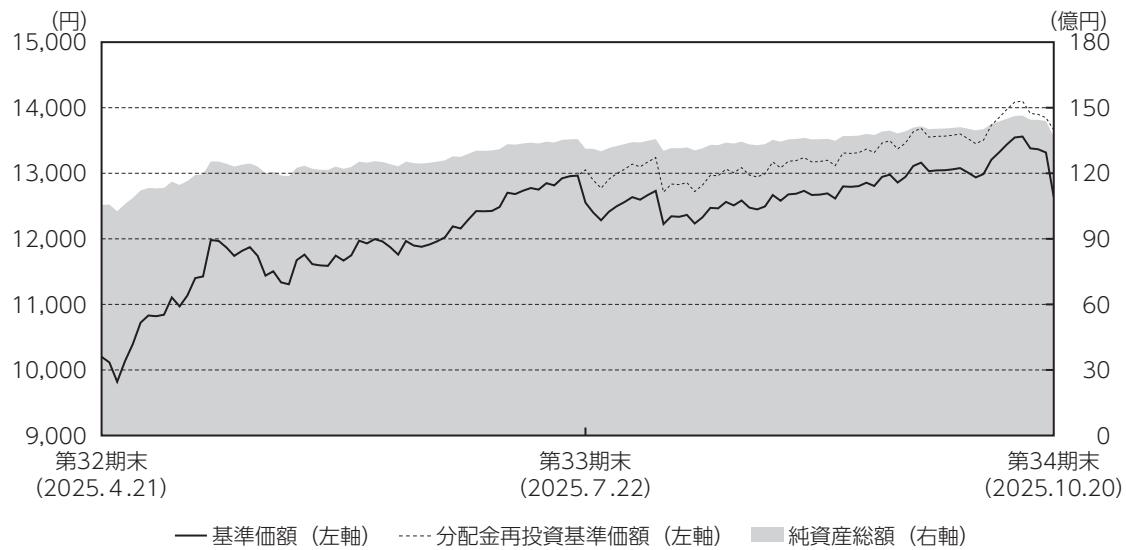
当作成期中の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	ダウ・ジョーンズ工業 株価平均(円換算ベース)		投 資 組	信 託 比	券 率
			騰 落 率	(参考指数)			
第33期	(期 首) 2025年 4月21日	円 10,200	% —	25,060	% —	%	98.3
	4月末	10,831	6.2	25,899	3.3		99.1
	5月末	11,759	15.3	27,632	10.3		99.2
	6月末	12,294	20.5	28,191	12.5		99.2
	(期 末) 2025年 7月22日	13,052	28.0	29,726	18.6		99.3
第34期	(期 首) 2025年 7月22日	12,552	—	29,726	—		99.3
	7月末	12,597	0.4	29,737	0.0		99.3
	8月末	12,688	1.1	30,188	1.6		99.3
	9月末	13,059	4.0	31,012	4.3		99.4
	(期 末) 2025年10月20日	13,138	4.7	31,015	4.3		99.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

運用経過

基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第33期首：10,200円

第34期末：12,638円（既払分配金1,000円）

騰 落 率：33.9%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

当作成期において、基準価額は23.9%の上昇、分配金再投資基準価額は33.9%の上昇となりました。
くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

投資環境について

◎米国株式市況

- ・当成期の米国株式市況は上昇しました。
- ・当成期から2025年7月にかけては、トランプ政権による関税政策を巡り、各国との交渉が進展したことを背景に株価は上昇しました。その後、労働市場の減速を示唆する経済指標が発表され、利下げへの期待が高まりました。さらに9月後半には連邦公開市場委員会（FOMC）で実際に利下げが決定されたことで、景気が下支えされるとの見方が広がりました。こうした流れを受けて株価はさらに上昇し、当成期に比べ上昇して期間を終えました。

◎為替市況

- ・当成期に比べ、米ドルは対円で上昇しました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

- ・当ファンドは、次世代米国代表株ファンド（FOFs）（適格機関投資家限定）とマネーポールファンド（FOFs）（適格機関投資家限定）に投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、次世代米国代表株ファンド（FOFs）（適格機関投資家限定）の受益証券を高位に組み入れました。

○次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）

基準価額は当成期に比べ34.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

- ・米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。銘柄選定にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、約30銘柄に投資を行ってまいりました。
- ・主として米国の強みでもあるインターネット、医療システム改革の重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目しました。同時に、比較的歴史のある企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応する企業にも目を配りました。
- ・当成期間においては、関税問題を中心とするトランプ政権の政策は景気への不透明感を高める結果となっており、当面市場のボラティリティ（価格変動性）を高める要因になることは否定できませんでした。その一方で、インフレは鎮静化の方向にあり、利下げのペースについては不透明感が残るもの、少なくとも金融政策が利下げ方向へと転換したことは確かだと考えました。同時に、景気と企業業績は比較的堅調に推移しているなど、株式市況を取り巻く好環境は大きく崩れてはいませんでした。関税政策の企業業績への影響が現時点では不透明であることや、トランプ政権の政策は、落としどころが読みづらいことから、ボラティリティの高い市況展開が当面は続くものの、底堅いファンダメンタルズに支えられ、現行水準からの下値は限定的と予想しました。このような環境下、成長が持続するかどうかを踏まえながら、中長期的に業績拡大余地の大きい優良成長株に投資を行いました。
- ・適宜銘柄の見直しを行った結果、当成期首と当成期末では、資本財・サービス業種において1銘柄を入れ替えました。
- ・企業ごとの業績動向を踏まえつつ、株価の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適宜行いました。
- ・航空機メーカーである「BOEING CO/THE」を全売却し、同業種でより投資妙味が大きいと考えた航空宇宙会社である「FTAI AVIATION LTD」を新規買付しました。

○マネーポールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）

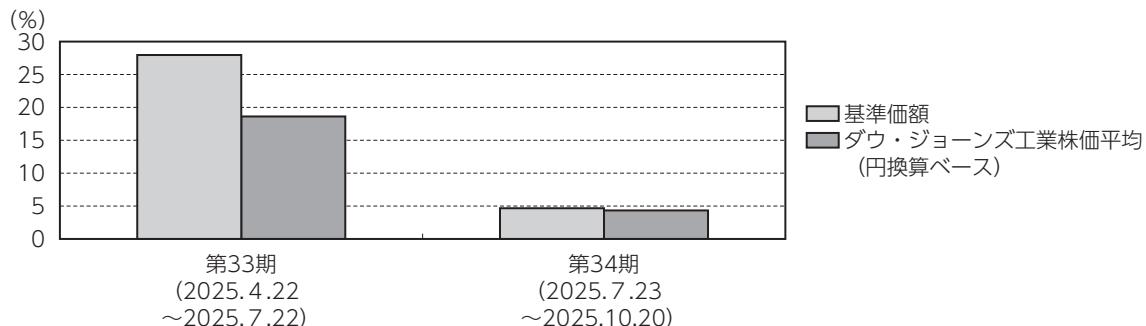
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース））との騰落率の対比です。

参考指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。



(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

分配金について

1万口当たり分配金（税込み）は第33期は500円、第34期も500円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当たり）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第33期	第34期
	2025年4月22日 ～2025年7月22日	2025年7月23日 ～2025年10月20日
当期分配金（税込み）(円)	500	500
対基準価額比率(%)	3.83	3.81
当期の収益(円)	246	500
当期の収益以外(円)	254	—
翌期繰越分配対象額(円)	2,589	2,666

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当たり）

項目	第33期	第34期
(a) 経費控除後の配当等収益	16.43円	40.98円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	229.58	536.30
(c) 収益調整金	1,664.20	1,711.60
(d) 分配準備積立金	1,178.80	877.76
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	3,089.01	3,166.64
(f) 分配金	500.00	500.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,589.01	2,666.64

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

○当ファンド

- ・次世代米国代表株ファンド（F O F s用）（適格機関投資家限定）の受益証券の組入比率を、通常の状態で高位に維持することを基本とします。

○次世代米国代表株ファンド（F O F s用）（適格機関投資家限定）

- ・一連の関税引き上げが景気動向にあたえる影響や、金融政策における今後の利下げのペースなどについて不透明感が完全に払拭されるには至っておりません。その一方で、インフレは鎮静化の方向にあり、利下げのペースについては不透明感が残るもの、少なくとも金融政策が利下げ方向へと転換したことは確かだと考えます。加えて、景気と企業業績は比較的堅調に推移しているなど、株式市況を取り巻く好環境は大きく崩れてはいません。好悪の両材料を織り込むかたちで市況は推移し、現行水準からの上値は重い一方で、下値もまた限定的と予想しています。米国特有の大きなイノベーションが起こっている分野に注目して、変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代企業に投資します。
- ・景気や金利の動向についての不透明感は、完全には払拭されていない状況ですが、マクロ動向の如何にかかわらず、イノベーションなどの中長期的な投資テーマに変化はないものと考えます。
- ・現在は、米国の強みでもあるインターネットとそれに伴う消費関連分野、人工知能（A I）を含むソフトウェアとそれを支える半導体、ヘルスケア領域における先進的な医療など、中長期的に妙味があると考える領域で事業を行う企業の成長に注目しています。同時に、比較的歴史のある企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応し続けている優良企業にも目を配っています。投資対象銘柄の中長期的な成長余地は大きいと判断しています。

○マネープールファンド（F O F s用）（適格機関投資家限定）

- ・コール・ローンおよびC P現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

1万口当たりの費用の明細

項目	第33期～第34期		項目の概要	
	(2025年4月22日～2025年10月20日)			
	金額	比率		
信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	59円 (24) (34) (2)	0.479% (0.192) (0.274) (0.014)	信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）×各期の日数／年間の日数 期中の平均基準価額は12,291円です。 ファンドの運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価	
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝各期中の売買委託手数料／各期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝各期中の有価証券取引税／各期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金	
その他費用 (監査費用)	1 (1)	0.005 (0.005)	その他費用＝各期中のその他費用／各期中の平均受益権口数 監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用	
合計	60	0.485		

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

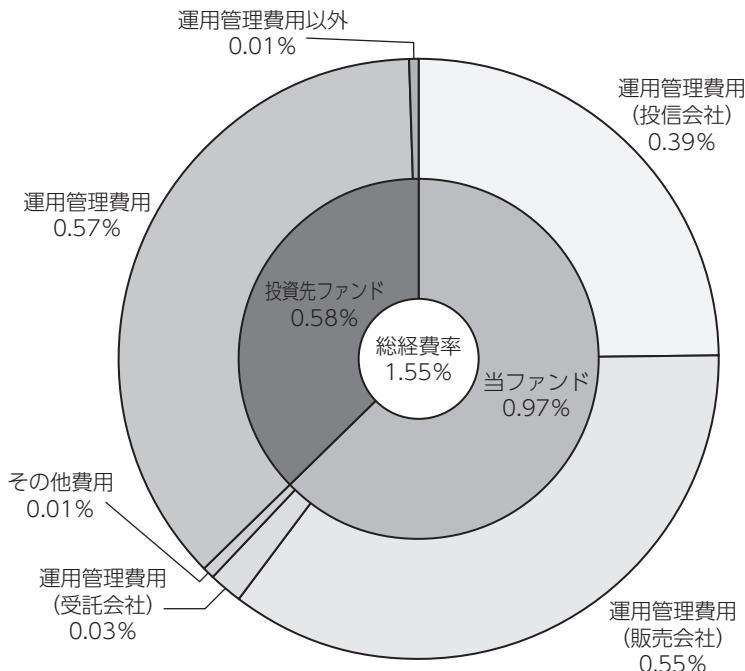
(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

参考情報

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.55%です。



総経費率 (①+②+③)	1.55%
①当ファンドの費用の比率	0.97%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2025年4月22日から2025年10月20日まで)

決算期		第33期～第34期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国 内	マネーポール ファンド(FOFs 用)(適格機関投 資家限定)	千口	千円	千口	千円
	次世代米国代表 株ファンド (FOFs用)(適格 機関投資家限定)	294,234.549	855,000	395,317.075	1,256,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第33期～第34期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

国内投資信託受益証券

銘柄	第34期末		
	口数	評価額	比率
マネーポールファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)	千口 99,691	千円 100	% 0.0
次世代米国代表株ファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)	4,135,436.198	13,582,426	99.4
合計	4,135,535.889	13,582,526	<99.4%>
銘柄数<比率>	2銘柄		

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年10月20日現在

項目	第34期末		
	評価額	比率	
投資信託受益証券	千円 13,582,526	% 95.3	
コール・ローン等、その他	664,687	4.7	
投資信託財産総額	14,247,214	100.0	

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年7月22日)、(2025年10月20日)現在

項目	第33期末	第34期末
(A) 資産	13,694,695,855円	14,247,214,344円
コール・ローン等	137,547,138	126,687,507
投資信託受益証券(評価額)	13,027,148,717	13,582,526,837
未収入金	530,000,000	538,000,000
(B) 負債	569,569,398	581,828,681
未払収益分配金	522,812,101	540,637,433
未払解約金	16,547,990	8,315,109
未払信託報酬	29,868,008	32,504,699
その他の未払費用	341,299	371,440
(C) 純資産総額(A-B)	13,125,126,457	13,665,385,663
元本	10,456,242,021	10,812,748,673
次期繰越損益金	2,668,884,436	2,852,636,990
(D) 受益権総口数	10,456,242,021口	10,812,748,673口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,552円	12,638円

(注) 元本状況
 期首元本額 10,347,043,705円 10,456,242,021円
 追加設定元本額 437,085,267円 556,461,225円
 一部解約元本額 327,886,951円 199,954,573円

■損益の状況

第33期	自2025年4月22日	至2025年7月22日
第34期	自2025年7月23日	至2025年10月20日

項目	第33期	第34期
(A) 配当等収益	17,351,581円	46,652,749円
受取配当金	17,205,988	46,519,892
受取利息	145,593	132,857
(B) 有価証券売買損益	2,943,921,983	610,425,265
売買益	2,999,259,951	615,701,483
売買損	△ 55,337,968	△ 5,276,218
(C) 信託報酬等	△ 30,209,307	△ 32,876,139
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,931,064,257	624,201,875
(E) 前期繰越損益金	△ 1,441,251,263	949,099,680
(F) 追加信託差損益金	1,701,883,543	1,819,972,868
(配当等相当額)	(1,740,125,664)	(1,850,709,116)
(売買損益相当額)	(△ 38,242,121)	(△ 30,736,248)
(G) 合計(D+E+F)	3,191,696,537	3,393,274,423
(H) 受益分配金	△ 522,812,101	△ 540,637,433
次期繰越損益金(G+H)	2,668,884,436	2,852,636,990
追加信託差損益金	1,701,883,543	1,819,972,868
(配当等相当額)	(1,740,125,664)	(1,850,709,116)
(売買損益相当額)	(△ 38,242,121)	(△ 30,736,248)
分配準備積立金	967,000,893	1,032,664,122

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
 (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 受益分配金の計算過程は「受益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第33期	第34期
(a) 経費控除後の配当等収益	17,173,346円	44,318,543円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	240,052,907円	579,883,332円
(c) 収益調整金	1,740,125,664円	1,850,709,116円
(d) 分配準備積立金	1,232,586,741円	949,099,680円
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	3,229,938,658円	3,424,010,671円
(f) 1万口当たり当期分配対象額	3,089.01円	3,166.64円
(g) 分配金	522,812,101円	540,637,433円
(h) 1万口当たり分配金	500円	500円

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

	第33期	第34期
一万口当たり分配金（税引前）	500円	500円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

当ファンドは一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。NISAをご利用の場合、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。

ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした商品を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。当ファンドはNISAの成長投資枠（特定非課税管理勘定）の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問合せください。

お知らせ

- 該当事項はありません。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2028年3月7日まで（2017年4月20日設定）
運用方針	次世代米国代表株マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると委託者が判断した企業の株式に投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	ベビーファンド 次世代米国代表株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド 米国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド 株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド 株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

運用報告に係わる情報

次世代米国代表株ファンド（FOFs用）
(適格機関投資家限定)

第33期（決算日：2025年6月9日）

第34期（決算日：2025年9月8日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「次世代米国代表株ファンド（FOFs用）(適格機関投資家限定)」は、去る9月8日に第34期の決算を行いましたので、法令に基づいて第33期～第34期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- 一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近10期の運用実績

決算期 (分配額)	基準価額			(参考指數) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (N Y D A U)		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	税込分配分	みなし配当	期騰落率	(配当込み、円換算ベース)	期騰落率			
25期(2023年6月7日)	円 20,639	円 120	% 7.3	ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (N Y D A U) 34,965	% 3.3	% 98.4	% —	百万円 8,625
26期(2023年9月7日)	22,636	120	10.3	38,180	9.2	98.7	—	9,373
27期(2023年12月7日)	23,226	110	3.1	39,917	4.6	98.3	—	9,301
28期(2024年3月7日)	26,374	110	14.0	43,480	8.9	97.1	—	11,015
29期(2024年6月7日)	28,174	110	7.2	45,878	5.5	98.8	—	12,189
30期(2024年9月9日)	25,495	10	△ 9.5	43,763	△ 4.6	94.9	—	11,267
31期(2024年12月9日)	30,177	110	18.8	50,973	16.5	99.0	—	12,931
32期(2025年3月7日)	27,786	0	△ 7.9	48,167	△ 5.5	95.2	—	12,111
33期(2025年6月9日)	28,761	40	3.7	47,498	△ 1.4	96.5	—	12,413
34期(2025年9月8日)	31,957	110	11.5	51,828	9.1	98.7	—	13,560

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指標を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均（ダウ工業株30種）とは、ダウ・ジョーンズが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「N Y (ニューヨーク) ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、ダウ・ジョーンズは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。ダウ・ジョーンズ工業株価平均（N Y D A U）（配当込み、円換算ベース）は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したもののです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	(参 考 指 数)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
			騰 落 率	(ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (N Y ダウ) (配当込み、 円換算ベース))		
第33期	(期 首) 2025年3月7日	円 27,786	% —	48,167	% —	% 95.2
	3月末	27,192	△ 2.1	47,536	△1.3	95.3
	4月末	25,979	△ 6.5	44,206	△8.2	96.3
	5月末	27,926	0.5	46,522	△3.4	96.2
	(期 末) 2025年6月9日	28,801	3.7	47,498	△1.4	96.5
						—
第34期	(期 首) 2025年6月9日	28,761	—	47,498	—	96.5
	6月末	29,870	3.9	48,669	2.5	97.1
	7月末	31,720	10.3	50,973	7.3	98.0
	8月末	31,906	10.9	51,513	8.5	97.0
	(期 末) 2025年9月8日	32,067	11.5	51,828	9.1	98.7
						—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当作成期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ15.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は当作成期首の値をファンド基準価額（分配金再投資ベース）と同一になるよう指數化しています。

●基準価額の主な変動要因

（上昇要因）

「SOFI TECHNOLOGIES INC」や「GOLDMAN SACHS GROUP INC」などの組入銘柄の値上がりに加えて、米ドルが対円で上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

（下落要因）

「UNITEDHEALTH GROUP INC」などの組入銘柄の値下がりなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

期間の初めから2025年4月下旬にかけては、トランプ政権の政策による不透明感やスタグフレーション（物価上昇と景気停滞）への懸念が高まり、株価は下落しました。4月下旬以降は、トランプ政権の関税政策に対して各国との関税交渉が進展したことや、底堅い経済指標を背景に景気の軟着陸期待が高まったことが好感され、株価は上昇しました。結果として、期間の初めからの株価は上昇となりました。

◎為替市況

期間の初めに比べ、米ドルは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

＜次世代米国代表株ファンド（F O F s用）（適格機関投資家限定）＞

次世代米国代表株マザーファンド受益証券を通じて米国株式に投資を行いました。

＜次世代米国代表株マザーファンド＞

米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。銘柄選定にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、約30銘柄に投資を行ってまいりました。

主として米国の強みでもあるインターネット、医療システム改革の重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目しました。同時に、比較的歴史のある企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応する企業にも目を配りました。

当期間においては、インフレが鎮静化し、利下げのペースについては不透明感が残るもの、少なくとも金融政策が利下げ方向へと転換したことは確かだと考えました。同時に、景気と企業業績は比較的堅調に推移しているなど、景気のソフトランディングの可能性が高まり、株式市況を取り巻く好環境は市況の下支えとなると判断しました。一方で、トランプ政権の政策を巡る不透明感に加え、2024年通年の市況上昇を受けた利益確定と見られる売りも市況の重荷となると考えました。当面は、このような好悪材料が拮抗する状況が予想され、下値は限定的であるものの、現行水準からの上値もまた重いと予想しました。

このような環境下、成長が持続するかどうかを踏まえながら、中長期的に業績拡大余地の大きい優良成長株に投資を行いました。

適宜銘柄の見直しを行った結果、期間の初めと期間末では、コミュニケーション・サービス業種において1銘柄を入れ替えました。

また、企業ごとの業績動向を踏まえつつ、株価

の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適宜行いました。

総合娯楽企業である「WALT DISNEY CO/THE」を全売却し、同業種でより投資妙味が大きいと考えたゲームプラットフォームを提供する「ROBLOX CORP -CLASS A」を新規買付しました。

●分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかつた利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第33期	第34期
	2025年3月8日～ 2025年6月9日	2025年6月10日～ 2025年9月8日
当期分配金 (対基準価額比率)	40 0.139%	110 0.343%
当期の収益	40	76
当期の収益以外	—	33
翌期繰越分配対象額	19,266	21,956

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

＜次世代米国代表株ファンド（F O F s用）（適格機関投資家限定）＞

マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

＜次世代米国代表株マザーファンド＞

関税問題を中心とするトランプ政権の政策については樂観的な見方も台頭していますが、落としどころが読みづらいことに変わりはなく、不透明感が完全に払拭されるには至っておりません。その一方で、インフレは鎮静化の方向にあり、利下げのペースについては不透明感が残るもの、少なくとも金融政策が利下げ方向へと転換したことは確かだと考えます。加えて、景気と企業業績は比較的堅調に推移しているなど、株式市況を取り巻く好環境は大きく崩れてはいません。好悪の両材料を織り込むかたちで市況は推移し、現行水準からの上値は重い一方で、下値もまた限定的と予想しています。

米国特有の大きなイノベーションが起こっている分野に注目して、変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代企業に投資します。景気や金利の動向についての不透明感は、完全には払拭されていない状況ですが、マクロ動向の如何にかかわらず、イノベーションなどの中長期的な投資テーマに変化はないものと考えます。現在は、米国の強みでもあるインターネットとそれに伴う消費関連分野、人工知能（A I）を含むソフトウェアとそれを支える半導体、ヘルスケア領域における先進的な医療など、中長期的に妙味があると考える領域で事業を行う企業の成長に注目しています。同時に、比較的歴史のある企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応し続けている優良企業にも目を配っています。投資対象銘柄の中長期的な成長余地は大きいと判断しています。

○1万口当たりの費用明細

(2025年3月8日～2025年9月8日)

項目	第33期～第34期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	円 84 (80) (0) (4)	% 0.292 (0.278) (0.001) (0.013)	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数) ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 （株式）	10 (10)	0.036 (0.036)	(b)売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(c) 有価証券取引税 （株式）	0 (0)	0.000 (0.000)	(c)有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他の費用 （保管費用） （監査費用） （その他）	1 (1) (1) (0)	0.004 (0.003) (0.002) (0.000)	(d)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	95	0.332	
作成期中の平均基準価額は、28,781円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年3月8日～2025年9月8日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第33期～第34期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
次世代米国代表株マザーファンド	千口 114,886	千円 641,490	千口 189,255	千円 1,055,330

○株式売買比率

(2025年3月8日～2025年9月8日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第33期～第34期	
	次世代米国代表株マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額		64,856,027千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額		187,316,836千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)		0.34

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2025年3月8日～2025年9月8日)

利害関係人との取引状況

<次世代米国代表株ファンド（F O F s用）（適格機関投資家限定）>

該当事項はございません。

<次世代米国代表株マザーファンド>

区 分	第33期～第34期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 11,605	百万円 3,391	% 29.2	百万円 27,987	百万円 23,706	% 84.7

平均保有割合 6.6%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2025年9月8日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第32期末		第34期末	
	口 数	千円	口 数	評 価 額
次世代米国代表株マザーファンド	2,187,525	千円	2,113,156	13,541,743

○投資信託財産の構成

(2025年9月8日現在)

項 目	第34期末	
	評 価 額	比 率
次世代米国代表株マザーファンド	千円 13,541,743	% 99.3
コール・ローン等、その他	90,202	0.7
投資信託財産総額	13,631,945	100.0

(注) 次世代米国代表株マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（205,036,112千円）の投資信託財産総額（209,537,250千円）に対する比率は97.9%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=148.47円

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第33期末		第34期末	
	2025年6月9日現在		2025年9月8日現在	
(A) 資産		円		円
コール・ローン等	12,476,637,377		13,631,945,558	
次世代米国代表株マザーファンド(評価額)	74,647,713		90,201,225	
未収入金	12,389,708,717		13,541,743,189	
未収利息	12,280,000		—	
(B) 負債				
未払収益分配金	947		1,144	
未払解約金	62,741,835		71,596,514	
未払信託報酬	17,265,086		46,676,879	
その他未払費用	27,999,999		5,999,998	
(C) 純資産額(A-B)	17,367,612		18,801,485	
元本	109,138		118,152	
次期繰越損益金	12,413,895,542		13,560,349,044	
(D) 受益権総口数	4,316,271,739口		4,243,352,678口	
1万口当たり基準価額(C/D)	28,761円		31,957円	

○損益の状況

項 目	第33期		第34期	
	2025年3月8日～ 2025年6月9日		2025年6月10日～ 2025年9月8日	
(A) 配当等収益		円		円
受取利息	67,454		55,402	
(B) 有価証券売買損益	67,454		55,402	
売買益	490,200,053		1,393,814,492	
売買損	545,744,015		1,440,980,383	
(C) 信託報酬等	△ 55,543,962		△ 47,165,891	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 17,476,750		△ 18,919,637	
(E) 前期繰越損益金	472,790,757		1,374,950,257	
(F) 追加信託差損益金	3,519,318,050		3,792,113,378	
(G) (配当等相当額)	4,122,780,082		4,196,609,610	
(H) (売買損益相当額)	(3,770,185,033)		(3,838,925,043)	
(I) 計(D+E+F)	(352,595,049)		(357,684,567)	
(J) 収益分配金	8,114,888,889		9,363,673,245	
次期繰越損益金(G+H)	△ 17,265,086		△ 46,676,879	
追加信託差損益金	8,097,623,803		9,316,996,366	
(配当等相当額)	4,122,780,082		4,196,609,610	
(売買損益相当額)	(3,770,451,598)		(3,839,163,205)	
分配準備積立金	(352,328,484)		(357,446,405)	
繰越損益金	4,545,308,311		5,120,386,756	
	△ 570,464,590		—	

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 4,359,002,625円
 作成期中追加設定元本額 306,528,202円
 作成期中一部解約元本額 422,178,149円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末3,1957円です。

②分配金の計算過程

項 目	2025年3月8日～ 2025年6月9日	2025年6月10日～ 2025年9月8日
費用控除後の配当等収益額	26,724,422円	32,256,202円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	798,454,694円
収益調整金額	3,770,451,598円	4,196,609,610円
分配準備積立金額	4,535,848,975円	4,336,352,739円
当ファンドの分配対象収益額	8,333,024,995円	9,363,673,245円
1万口当たり収益分配対象額	19,306円	22,066円
1万口当たり分配金額	40円	110円
収益分配金額	17,265,086円	46,676,879円

○分配金のお知らせ

	第33期	第34期
1万口当たり分配金（税込み）	40円	110円

[お知らせ]

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2025年4月1日)

次世代米国代表株マザーファンド

《第25期》決算日2025年9月8日

[計算期間：2025年3月8日～2025年9月8日]

「次世代米国代表株マザーファンド」は、9月8日に第25期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第25期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると委託会社が判断した企業の株式に投資を行い、信託財産の成長をめざします。株式への投資にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を選択し、30銘柄程度に投資を行います。株式の組入比率は原則として高位を保ちます。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	米国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	(参考指數) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (N Yダウ)		株組入比率	株先物比率	純資産額
		期騰落率	中率			
21期(2023年9月7日)	円 43,851	% 18.8	% 38,180	% 12.9	% 98.7	百万円 69,161
22期(2024年3月7日)	51,755	18.0	43,480	13.9	97.2	— 88,148
23期(2024年9月9日)	50,348	△ 2.7	43,763	0.7	95.4	— 143,522
24期(2025年3月7日)	55,235	9.7	48,167	10.1	95.5	— 175,639
25期(2025年9月8日)	64,083	16.0	51,828	7.6	98.8	— 186,510

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指數を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均（ダウ工業株30種）とは、ダウ・ジョーンズが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したもので、日本では、「ダウ平均」、「N Y (ニューヨーク) ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、ダウ・ジョーンズは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。ダウ・ジョーンズ工業株価平均（N Yダウ）(配当込み、円換算ベース)は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したもののです。

(注) 外国の指標は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	(参考指數) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (N Y ダウ)	株組入比率	株先物比率
			(配当込み、 円換算ベース)		
(期首) 2025年3月7日	円 55,235	% —	48,167	% —	% 95.5
3月末	54,074	△2.1	47,536	△1.3	95.9
4月末	51,707	△6.4	44,206	△8.2	96.5
5月末	55,615	0.7	46,522	△3.4	96.8
6月末	59,613	7.9	48,669	1.0	97.3
7月末	63,351	14.7	50,973	5.8	98.2
8月末	63,751	15.4	51,513	6.9	97.3
(期末) 2025年9月8日	64,083	16.0	51,828	7.6	98.8

(注) 謄落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

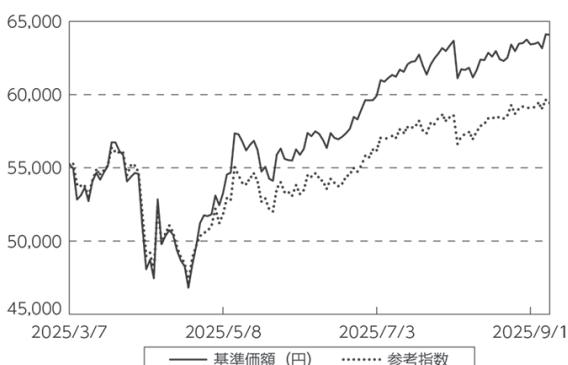
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ16.0%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指標化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- 「SOFI TECHNOLOGIES INC」や「GOLDMAN SACHS GROUP INC」などの組入銘柄の値上がりに加えて、米ドルが対円で上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

- 「UNITEDHEALTH GROUP INC」などの組入銘柄の値下がりなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎米国株式市況

- 米国株式市況は上昇しました。
- 期間の初めから2025年4月下旬にかけては、トランプ政権の政策による不透明感やスタグフレーション（物価上昇と景気停滞）への懸念が高まり、株価は下落しました。4月下旬以降は、トランプ政権の関税政策に対して各国との関税交渉が進展したことや、底堅い経済指標を背景に景気の軟着陸期待が高まったことが好感され、株価は上昇しました。結果として、期間の初め

からの株価は上昇となりました。

◎為替市況

- 期間の初めに比べ、米ドルは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- 米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。銘柄選定にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、約30銘柄に投資を行ってまいりました。
- 主として米国の強みでもあるインターネット、医療システム改革の重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目しました。同時に、比較的歴史のある企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応する企業にも目を配りました。
- 当期間においては、インフレが鎮静化し、利下げのペースについては不透明感が残るもの、少なくとも金融政策が利下げ方向へと転換したことは確かだと考えました。同時に、景気と企業業績は比較的堅調に推移しているなど、景気のソフトランディングの可能性が高まり、株式市況を取り巻く好環境は市況の下支えとなると判断しました。一方で、トランプ政権の政策を巡る不透明感に加え、2024年通年の市況上昇を受けた利益確定とみられる売りも市況の重荷となると考えました。当面は、このような好悪材料が拮抗する状況が予想され、下値は限定的であるものの、現行水準からの上値もまた重いと予想しました。
- このような環境下、成長が持続するかどうかを踏まえながら、中長期的に業績拡大余地の大きい優良成長株に投資を行いました。
- 適宜銘柄の見直しを行った結果、期間の初めと期間末では、コミュニケーション・サービス業種において1銘柄を入れ替えました。

・また、企業ごとの業績動向を踏まえつつ、株価の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適宜行いました。

・総合娯楽企業である「WALT DISNEY CO/THE」を全売却し、同業種でより投資妙味が大きいと考えたゲームプラットフォームを提供する「ROBLOX CORP -CLASS A」を新規買付しました。

○今後の運用方針

- 関税問題を中心とするトランプ政権の政策については楽観的な見方も台頭していますが、落としどころが読みづらいことに変わりはなく、不透明感が完全に払拭されるには至っておりません。その一方で、インフレは鎮静化の方向にあり、利下げのペースについては不透明感が残るもの、少なくとも金融政策が利下げ方向へと転換したことは確かだと考えます。加えて、景気と企業業績は比較的堅調に推移しているなど、株式市況を取り巻く好環境は大きく崩れてはいません。好悪の両材料を織り込むかたちで市況は推移し、現行水準からの上値は重い一方で、下値もまた限定的と予想しています。
- 米国特有の大きなイノベーションが起こっている分野に注目して、変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代企業に投資します。景気や金利の動向についての不透明感は、完全には払拭されていない状況ですが、マクロ動向の如何にかわらず、イノベーションなどの中長期的な投資テーマに変化はないものと考えます。現在は、米国の強みでもあるインターネットとそれに伴う消費関連分野、人工知能(AI)を含むソフトウェアとそれを支える半導体、ヘルスケア領域における先進的な医療など、中長期的に妙味があると考える領域で事業を行う企業の成長に注目しています。同時に、比較的歴史のある企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応し続けている優良企業にも目を配っています。投資対象銘柄の中長期的な成長余地は大きいと判断しています。

○1万口当たりの費用明細

(2025年3月8日～2025年9月8日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式)	円 20 (20)	% 0.035 (0.035)	(a)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b)有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他の費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)	0.003 (0.003) (0.000)	(c)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	21	0.038	
期中の平均基準価額は、57,378円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

○売買及び取引の状況

(2025年3月8日～2025年9月8日)

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外 国	アメリカ	百株 15,902	千アメリカドル 180,004	百株 24,669	千アメリカドル 263,083

(注) 金額は受渡代金。

○株式売買比率

(2025年3月8日～2025年9月8日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	64,854,875千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	187,316,836千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.34

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2025年3月8日～2025年9月8日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 11,605	百万円 3,391	% 29.2	百万円 27,987	百万円 23,706	% 84.7

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2025年9月8日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当期末		業種等			
	株数	株数	評価額					
			外貨建金額	邦貨換算金額				
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円				
AMERICAN EXPRESS CO	2,773	2,525	82,386	12,231,977	金融サービス			
BOEING CO/THE	615	540	12,401	1,841,245	資本財			
CATERPILLAR INC	1,928	1,779	75,286	11,177,748	資本財			
COCA-COLA CO/THE	1,754	1,754	11,920	1,769,870	食品・飲料・タバコ			
CHEVRON CORP	1,658	1,580	24,289	3,606,261	エネルギー			
WALT DISNEY CO/THE	976	—	—	—	メディア・娯楽			
GOLDMAN SACHS GROUP INC	1,758	1,497	110,563	16,415,426	金融サービス			
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	1,153	1,153	24,713	3,669,248	資本財			
ELI LILLY & CO	346	452	32,940	4,890,665	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス			
S&P GLOBAL INC	439	484	26,063	3,869,666	金融サービス			
PROCTER & GAMBLE CO/THE	1,389	1,546	24,745	3,673,963	家庭用品・パーソナル用品			
ROCKWELL AUTOMATION INC	1,524	1,531	52,024	7,724,010	資本財			
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	1,584	1,703	63,450	9,420,444	素材			
UNITEDHEALTH GROUP INC	1,569	1,204	37,991	5,640,560	ヘルスケア機器・サービス			
TJX COMPANIES INC	3,576	3,623	50,462	7,492,110	一般消費財・サービス流通・小売			
CADENCE DESIGN SYS INC	1,136	891	31,306	4,648,088	ソフトウェア・サービス			
COSTCO WHOLESALE CORP	181	244	23,551	3,496,662	生活必需品流通・小売			
MICROSOFT CORP	1,792	1,594	78,943	11,720,681	ソフトウェア・サービス			
LAM RESEARCH CORP	3,410	2,730	28,110	4,173,565	半導体・半導体製造装置			
INTUITIVE SURGICAL INC	827	822	38,403	5,701,827	ヘルスケア機器・サービス			
AMAZON.COM INC	4,115	3,860	89,689	13,316,146	一般消費財・サービス流通・小売			
NVIDIA CORP	2,964	2,468	41,230	6,121,500	半導体・半導体製造装置			
VISA INC-CLASS A SHARES	1,450	1,597	54,843	8,142,558	金融サービス			
DEXCOM INC	1,925	2,713	21,843	3,243,067	ヘルスケア機器・サービス			
SERVICENOW INC	462	540	49,427	7,338,492	ソフトウェア・サービス			
BROADCOM INC	1,209	1,221	40,906	6,073,434	半導体・半導体製造装置			
PINTEREST INC- CLASS A	4,084	2,350	8,917	1,323,912	メディア・娯楽			
AIRBNB INC-CLASS A	948	794	9,841	1,461,135	消費者サービス			
ROBLOX CORP -CLASS A	—	1,824	23,297	3,458,930	メディア・娯楽			
SOFI TECHNOLOGIES INC	25,887	19,643	50,286	7,466,023	金融サービス			
MOBILEYE GLOBAL INC-A	14,797	14,797	21,752	3,229,611	自動車・自動車部品			
合計	株数	・	金額	88,242	79,475	1,241,589	184,338,838	
	銘柄	数	<比率>	30	30	—	<98.8%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2025年9月8日現在)

項 目	当期末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 184,338,838	% 88.0
コール・ローン等、その他	25,198,412	12.0
投資信託財産総額	209,537,250	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (205,036,112千円) の投資信託財産総額 (209,537,250千円) に対する比率は97.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=148.47円		
-----------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年9月8日現在)

項 目	当期末
(A) 資産	円 228,205,284,202
コール・ローン等	4,718,969,692
株式(評価額)	184,338,838,193
未収入金	38,949,630,951
未収配当金	197,788,236
未収利息	57,130
(B) 負債	41,695,226,200
未払金	18,705,166,200
未払解約金	22,990,060,000
(C) 純資産総額(A-B)	186,510,058,002
元本	29,104,572,504
次期繰越損益金	157,405,485,498
(D) 受益権総口数	29,104,572,504口
1万口当たり基準価額(C/D)	64,083円

<注記事項>

- ①期首元本額 31,798,776,553円
 期中追加設定元本額 2,233,776,386円
 期中一部解約元本額 4,927,980,435円
 また、1口当たり純資産額は、期末6,4083円です。

②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）

次世代米国代表株ファンド	26,652,450,734円
次世代米国代表株ファンド（F O F s用）（適格機関投資家限定）	2,113,156,873円
次世代米国代表株ファンド（為替ヘッジあり）	206,891,271円
外国株式アクティイブファンドセレクション（ラップ専用）	132,073,626円
合計	29,104,572,504円

○損益の状況

(2025年3月8日～2025年9月8日)

項 目	当期
(A) 配当等収益	円 941,093,796
受取配当金	856,195,110
受取利息	66,131,902
その他収益金	18,766,784
(B) 有価証券売買損益	29,074,484,081
売買益	36,987,924,760
売買損	△ 7,913,440,679
(C) 保管費用等	△ 4,949,498
(D) 当期損益金(A+B+C)	30,010,628,379
(E) 前期繰越損益金	143,840,683,070
(F) 追加信託差損益金	9,756,733,614
(G) 解約差損益金	△ 26,202,559,565
(H) 計(D+E+F+G)	157,405,485,498
次期繰越損益金(H)	157,405,485,498

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

【お知らせ】

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
 (2025年4月1日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	無期限（2010年11月24日設定）	
運用方針	マネー・マーケット・マザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国の公社債等に実質的な投資を行い、利子等収益の確保を図ります。	
主要運用対象	ペ ビ 一 フ ァ ン ド	マネー・マーケット・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、わが国の公社債等に直接投資することがあります。
	マ ザ 一 フ ァ ン ド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ペ ビ 一 フ ァ ン ド	外貨建資産への投資は行いません。
	マ ザ 一 フ ァ ン ド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

運用報告に係わる情報

マネーブールファンド（F O F s用） (適格機関投資家限定)



第29期（決算日：2025年5月20日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「マネーブールファンド（F O F s用）(適格機関投資家限定)」は、去る5月20日に第29期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- 一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基 準 価 額				債券組入比率	債券先物比率	純資産額
		税分	込配	み金	期騰落			
25期(2023年5月22日)	円 10,010	円 0		% △0.0		% —	% —	百万円 10
26期(2023年11月20日)	10,008	0		△0.0		—	—	10
27期(2024年5月20日)	10,007	0		△0.0		—	—	223
28期(2024年11月20日)	10,013	0		0.1		—	—	285
29期(2025年5月20日)	10,033	0		0.2		—	—	580

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債券組入比率	債券先物比率	券率
		騰	落			
(期首) 2024年11月20日	円 10,013		% —		% —	% —
11月末	10,014		0.0		—	—
12月末	10,014		0.0		—	—
2025年1月末	10,016		0.0		—	—
2月末	10,020		0.1		—	—
3月末	10,024		0.1		—	—
4月末	10,030		0.2		—	—
(期末) 2025年5月20日	10,033		0.2		—	—

(注) 謄落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

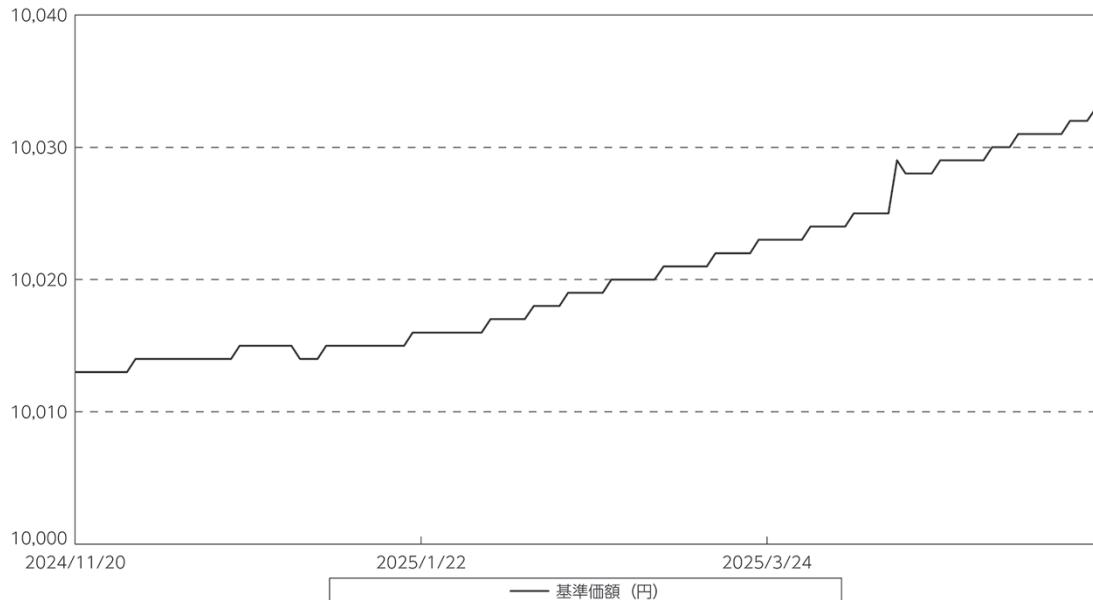
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ0.2%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市场

無担保コール翌日物金利は、プラス圏での推移となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

<マネーポールファンド（F O F s用）（適格機関投資家限定）>

- ・期間を通じて、マネー・マーケット・マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持しました。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

●分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかつた利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第29期
	2024年11月21日～ 2025年5月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	68

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

＜マネーポールファンド（F O F s用）（適格機関投資家限定）＞

- ・マネー・マーケット・マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、マザーファンドのポートフォリオの構成に近づけた状態を維持する方針です。

＜マネー・マーケット・マザーファンド＞

- ・日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は安定した推移を想定しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2024年11月21日～2025年5月20日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	円 2 (1) (1) (1)	% 0.016 (0.005) (0.005) (0.005)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数) ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
合計	2	0.016	
期中の平均基準価額は、10,020円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年11月21日～2025年5月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
マニー・マーケット・マザーファンド	千口 293,371	千円 299,248	千口 5,680	千円 5,793

○利害関係人との取引状況等

(2024年11月21日～2025年5月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年5月20日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 價 額
マネー・マーケット・マザーファンド	千口 279,191	千口 566,883	千円 578,844

○投資信託財産の構成

(2025年5月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 價 額	比 率
マネー・マーケット・マザーファンド	千円 578,844	% 99.7
コール・ローン等、その他	1,509	0.3
投資信託財産総額	580,353	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年5月20日現在）

項目	当期末
(A) 資産	円 580,353,631
コール・ローン等	1,508,347
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	578,844,762
未収入金	503
未収利息	19
(B) 負債	60,293
未払信託報酬	60,293
(C) 純資産総額(A-B)	580,293,338
元本	578,379,296
次期繰越損益金	1,914,042
(D) 受益権総口数	578,379,296口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,033円

<注記事項>

- ①期首元本額 284,814,791円
 期中追加設定元本額 299,301,633円
 期中一部解約元本額 5,737,128円
 また、1口当たり純資産額は、期末1,0033円です。

○損益の状況（2024年11月21日～2025年5月20日）

項目	当期
(A) 配当等収益	円 1,822
受取利息	1,822
(B) 有価証券売買損益	916,614
売買益	968,557
売買損	△ 51,943
(C) 信託報酬等	△ 60,293
(D) 当期損益金(A+B+C)	858,143
(E) 前期繰越損益金	140,878
(F) 追加信託差損益金	915,021
(配当等相当額)	(2,976,113)
(売買損益相当額)	(△2,061,092)
(G) 計(D+E+F)	1,914,042
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	1,914,042
追加信託差損益金	915,021
(配当等相当額)	(2,989,883)
(売買損益相当額)	(△2,074,862)
分配準備積立金	999,021

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項目	目	2024年11月21日～ 2025年5月20日
費用控除後の配当等収益額		747,147円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額		87,772円
収益調整金額		2,989,883円
分配準備積立金額		164,102円
当ファンドの分配対象収益額		3,988,904円
1万口当たり収益分配対象額		68円
1万口当たり分配金額		一円
収益分配金金額		一円

[お知らせ]

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
 (2025年4月1日)

マネー・マーケット・マザーファンド

《第41期》決算日2025年5月20日

[計算期間：2024年11月21日～2025年5月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月20日に第41期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第41期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	債組入比率	債先物比率	純資産額	期騰落率	券率
					円	%
37期(2023年5月22日)	10,181	0.0	—	—	—	2,921
38期(2023年11月20日)	10,181	0.0	—	—	—	3,393
39期(2024年5月20日)	10,181	0.0	—	—	—	4,054
40期(2024年11月20日)	10,189	0.1	—	—	—	5,470
41期(2025年5月20日)	10,211	0.2	—	—	—	40,477

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	債組入比率	債先物比率	純資産額	期騰落率	券率
					円	%
(期首) 2024年11月20日	10,189	—	—	—	—	—
11月末	10,190	0.0	—	—	—	—
12月末	10,191	0.0	—	—	—	—
2025年1月末	10,193	0.0	—	—	—	—
2月末	10,197	0.1	—	—	—	—
3月末	10,201	0.1	—	—	—	—
4月末	10,208	0.2	—	—	—	—
(期末) 2025年5月20日	10,211	0.2	—	—	—	—

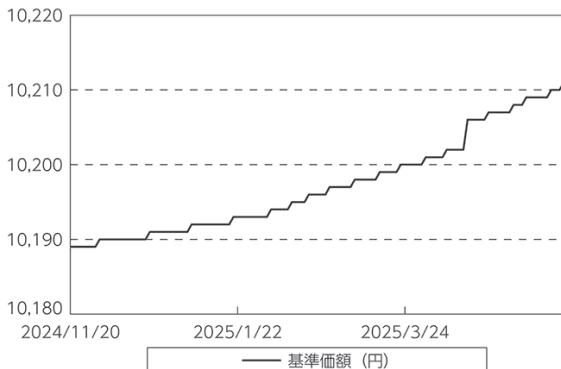
(注) 謄落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

- 当期中の基準価額等の推移について
- ◎基準価額の動き
 - 基準価額は期間の初めに比べ0.2%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

- ◎国内短期金融市場
 - ・無担保コール翌日物金利は、プラス圏での推移となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

- ・日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は安定した推移を想定しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

○1万口当たりの費用明細

(2024年11月21日～2025年5月20日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2024年11月21日～2025年5月20日)

その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円	千円
		810,270,423	809,484,240

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2024年11月21日～2025年5月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年5月20日現在)

国内その他有価証券

区分	当期末	
	評価額	比率
コマーシャル・ペーパー	千円 5,198,797	% 12.8

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2025年5月20日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
その他有価証券	千円 5,198,797	% 12.8
コール・ローン等、その他	35,279,000	87.2
投資信託財産総額	40,477,797	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年5月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コレ・ローン等	40,477,797,928
その他有価証券(評価額)	35,278,553,389
未収利息	5,198,797,053
未収利息	447,486
(B) 負債	733
未払解約金	733
(C) 純資産総額(A-B)	40,477,797,195
元本	39,641,402,603
次期繰越損益金	836,394,592
(D) 受益権総口数	39,641,402,603口
1口当たり基準価額(C/D)	10,211円

<注記事項>

①期首元本額 5,368,633,626円

期中追加設定元本額 63,750,440,572円

期中一部解約元本額 29,477,671,595円

また、1口当たり純資産額は、期末1.0211円です。

②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

MUKAM バランス・イノベーション (株式抑制型) (適格機関投資家転売制限付)	13,841,935,168円
三菱UFJ DCバランス・イノベーション (KAKUSHI N)	6,876,897,464円
三菱UFJ バランス・イノベーション (株式重視型)	4,456,958,183円
三菱UFJ バランス・イノベーション (株式抑制型)	3,602,977,182円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030 (確定拠出年金)	3,227,925,217円
MUKAM バランス・イノベーション (リスク抑制型) (適格機関投資家転売制限付)	2,899,813,927円
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	1,742,982,315円
三菱UFJ バランス・イノベーション (債券重視型)	1,618,842,425円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035 (確定拠出年金)	611,391,065円
マネーブールファンド (FOF's用) (適格機関投資家限定)	566,883,520円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2030	117,696,083円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーブールファンド>	28,182,861円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーブールファンドA>	20,053,135円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2030	14,767,388円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ヨーロンプレミアム (毎月分配型)	4,850,169円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	4,289,171円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	2,515,903円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーブールファンド>	1,329,590円
米国バンクローン・オーブン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	98,223円
米国バンクローン・オーブン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98,222円
米国バンクローン・オーブン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	98,222円
米国バンクローン・オーブン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	98,222円
テンプルトン新興国小型株ファンド	49,097円
三菱UFJ インド債券オーブン (毎月決算型)	39,351円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	9,822円
<DC>ペイリー・ギフォード ESG世界株ファンド	9,822円
ペイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド (予想分配金提示型)	9,822円

○損益の状況 (2024年11月21日～2025年5月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円 18,125,452
受取利息	18,125,452
(B) 当期損益金(A)	18,125,452
(C) 前期繰越損益金	101,474,603
(D) 追加信託差損益金	1,312,189,247
(E) 解約差損益金	△ 595,394,710
(F) 計(B+C+D+E)	836,394,592
次期繰越損益金(F)	836,394,592

(注) (D) 追加信託差損益金 あるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E) 解約差損益金 あるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

ペイリー・ギフォード インパクト投資ファンド（予想分配金提示型）	9,822円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>（毎月分配型）	9,821円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>（毎月分配型）	9,821円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>（毎月分配型）	9,821円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>（毎月分配型）	9,821円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド（毎月分配型）	9,821円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド（毎月分配型）	9,821円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>（毎月分配型）	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>（毎月分配型）	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>（毎月分配型）	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>（毎月分配型）	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>（毎月分配型）	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>（毎月分配型）	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース>（毎月分配型）	9,821円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース>（毎月分配型）	9,821円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース>（年2回分配型）	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>（毎月分配型）	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>（毎月分配型）	9,821円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース>（毎月分配型）	9,821円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース>（毎月分配型）	9,821円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>（毎月分配型）	9,821円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>（毎月分配型）	9,821円
三菱UFJ／ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型>（毎月決算型）	9,821円
三菱UFJ／ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>（毎月決算型）	9,821円
三菱UFJ／ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型>（年1回決算型）	9,821円
三菱UFJ／ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>（年1回決算型）	9,821円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり>（毎月分配型）	9,821円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>（毎月分配型）	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム>（毎月分配型）	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<年2回分配型>	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム>（毎月分配型）	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム>（年2回分配型）	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>（毎月分配型）	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>（年2回分配型）	9,821円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム（毎月分配型）	9,821円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>（資産成長型）	9,821円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり>（毎月決算型）	9,821円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定期間為替ヘッジあり>（年2回決算型）	9,821円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>（毎月決算型）	9,821円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>（年2回決算型）	9,821円
ペイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
<DC>ペイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
ペイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	9,821円
ビムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド（毎月分配型）	9,821円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース（為替ヘッジなし）	9,821円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース（為替ヘッジあり）	9,821円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,821円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり>（資産成長型）	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型>（分配コース）	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型>（分配抑制コース）	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型>（分配コース）	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型>（分配抑制コース）	9,820円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルレアルコース>（毎月分配型）	9,819円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド（年2回分配型）	9,817円

PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース>（年2回分配型）	9,816円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド（年2回分配型）	9,815円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>（年2回分配型）	9,814円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルレアルコース>（年2回分配型）	9,813円
グローバル・インカム・フルコース（為替リスク軽減型）	983円
グローバル・インカム・フルコース（為替ヘッジなし）	983円
合計	39,641,402,603円

[お知らせ]

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
 (2025年4月1日)